

平成30年度 瑞穂市地域公共交通会議
議 事 次 第

日 時：平成31年2月26日（火）午後1時30分～
場 所：総合センター 第4会議室

1. 開 会

2. 会長あいさつ

3. 議 事

報告事項1 「みずほバス」再編後の利用状況について

報告事項2 新規路線「安八穂積線」の利用状況について

報告事項3 評価と今後の課題

4. その他

5. 閉 会

【配布資料】

- ・みずほバス路線図
- ・安八穂積線路線図
- ・議事資料 資料①、資料②、資料③

1. 「みずほバス」再編後の利用状況

(1) みずほバス再編の概要

■平成30年4月1日に路線再編

- ①公共交通カバーエリアを増やすために、バス停を6箇所移設し、13箇所増設
- ②運行エリアの拡大にあわせ、3路線から4路線に細分化
- ③帰宅利用を想定し、JR穂積駅前20時台発を増便
- ④利用者にわかりやすくするために、バス停の名称を商業施設名に変更

▼各路線の概要

本田七崎線	・旧本田・唐栗線を基本としたルート ・市北西部にエリア拡大（七崎やイオンタウン本巣など）
十九条古橋線	・旧十九条・古橋線を基本としたルート ・バス停を3箇所新設
牛牧穂積線	・旧牛牧・穂積線を基本としたルート ・野白新田周辺のまわり方を変更し、牛牧団地西を通過 ・マックスバリュ穂積店、上穂積交差点南バス停を新設
馬場十七条線	・旧本田・唐栗線北東部通過後、樽見鉄道に沿って南下し、JR東海道本線に沿って穂積駅に向かうルート ・樽見鉄道沿いにバス停を新設（十七条、十八条、十九条駅）

(2) 再編後の利用状況

■月別利用者数

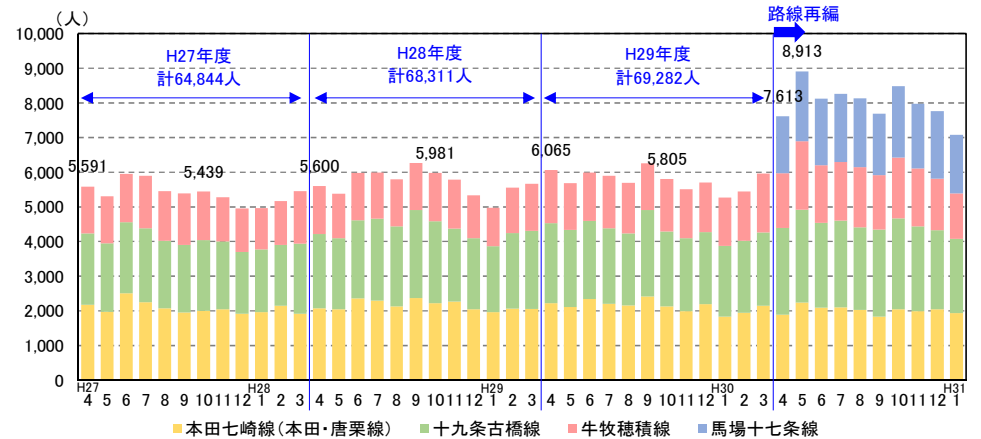
- 再編後の月別利用者数は、7,000人～9,000人/月となっている。
- 路線別にみると、十九条古橋線は2,100人～2,700人/月と4路線の中で最も多く、次いで本田七崎線が1,800人～2,200人/月、馬場十七条線が1,600人～2,100人/月、牛牧穂積線が1,300人～2,000人/月となっている。
- 対前年度比をみると、本田七崎線は100%未満となる月があるが、この要因としては旧本田・唐栗線が通過していた馬場や本田の北側に住む人などが、馬場十七条線を利用するようになったことと考えられる。
- 十九条古橋線はすべての月で100%以上となっており、全体的に利用者数が増えている。
- 牛牧穂積線は1月以外のすべての月で100%以上となっており、全体的に利用者数が増えている。5月は147%と高くなっているが、これは市制15周年事業のイベント会場付近にあるPLANT6への移動が多かったと考えられる。
- 4路線全体の対前年度比をみると、5月は150%以上となっている。

■利用者の属性 ※平日2日間の合計値、属性は調査員の目視判断

- 学生の人数は、本田七崎線が61人、十九条古橋線で55人とそのほかの路線と比較して多くなっている。
- 大人は、本田七崎線、馬場十七条線、十九条古橋線で100人以上と、再編前と比較して多くなっている。
- 路線別の利用者数を合算すると、大人は再編前から180人増えている。

子ども	再編前 3人	→	再編後 28人 (+25人)
学生	再編前 117人	→	再編後 152人 (+35人)
大人	再編前 200人	→	再編後 380人 (+180人)
高齢者	再編前 167人	→	再編後 144人 (-23人)

▼月別利用者数

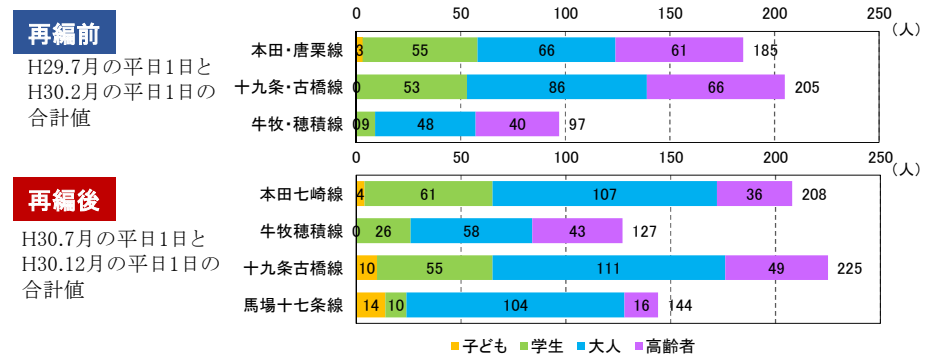


		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
平成29年度 月別利用者 (人)	本田・唐栗線	2,226	2,111	2,342	2,202	2,163	2,408	2,128	1,997	2,199	1,834	1,948	2,145	25,703
	十九条・古橋線	2,302	2,226	2,253	2,183	2,079	2,496	2,163	2,105	2,076	2,039	2,079	2,122	26,123
	牛牧・穂積線	1,537	1,346	1,395	1,515	1,450	1,360	1,514	1,411	1,425	1,396	1,412	1,695	17,456
	合計	6,065	5,683	5,990	5,900	5,692	6,264	5,805	5,513	5,700	5,269	5,439	5,962	69,282
平成30年度 月別利用者 (人)	本田七崎線	1,893	2,245	2,094	2,107	2,027	1,836	2,051	1,990	2,042	1,930	-	-	20,215
	十九条古橋線	2,501	2,672	2,444	2,501	2,382	2,511	2,617	2,441	2,288	2,146	-	-	24,503
	牛牧穂積線	1,576	1,975	1,663	1,690	1,738	1,568	1,751	1,681	1,479	1,318	-	-	16,439
	馬場十七条線	1,643	2,021	1,923	1,963	1,982	1,771	2,061	1,859	1,953	1,690	-	-	18,866
合計	7,613	8,913	8,124	8,261	8,129	7,686	8,480	7,971	7,762	7,084	-	-	80,023	
対前年度比	本田七崎線	85%	106%	89%	96%	94%	76%	96%	100%	93%	105%	-	-	-
	十九条古橋線	109%	120%	108%	115%	115%	101%	121%	116%	110%	105%	-	-	-
	牛牧穂積線	103%	147%	119%	112%	120%	115%	116%	119%	104%	94%	-	-	-
	馬場十七条線	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	126%	157%	136%	140%	143%	123%	146%	145%	136%	134%	-	-	-	

※4月30日～5月6日はみずほバス全線無料運行(市制15周年事業)

※H30.4月～H31.1月までの合計値の対前年度比は139% ((80,473 ÷ 57,881) × 100)

▼利用者の属性



1. 「みずほバス」再編後の利用状況

(3) 本田七崎線の利用状況

■ 便別利用者数

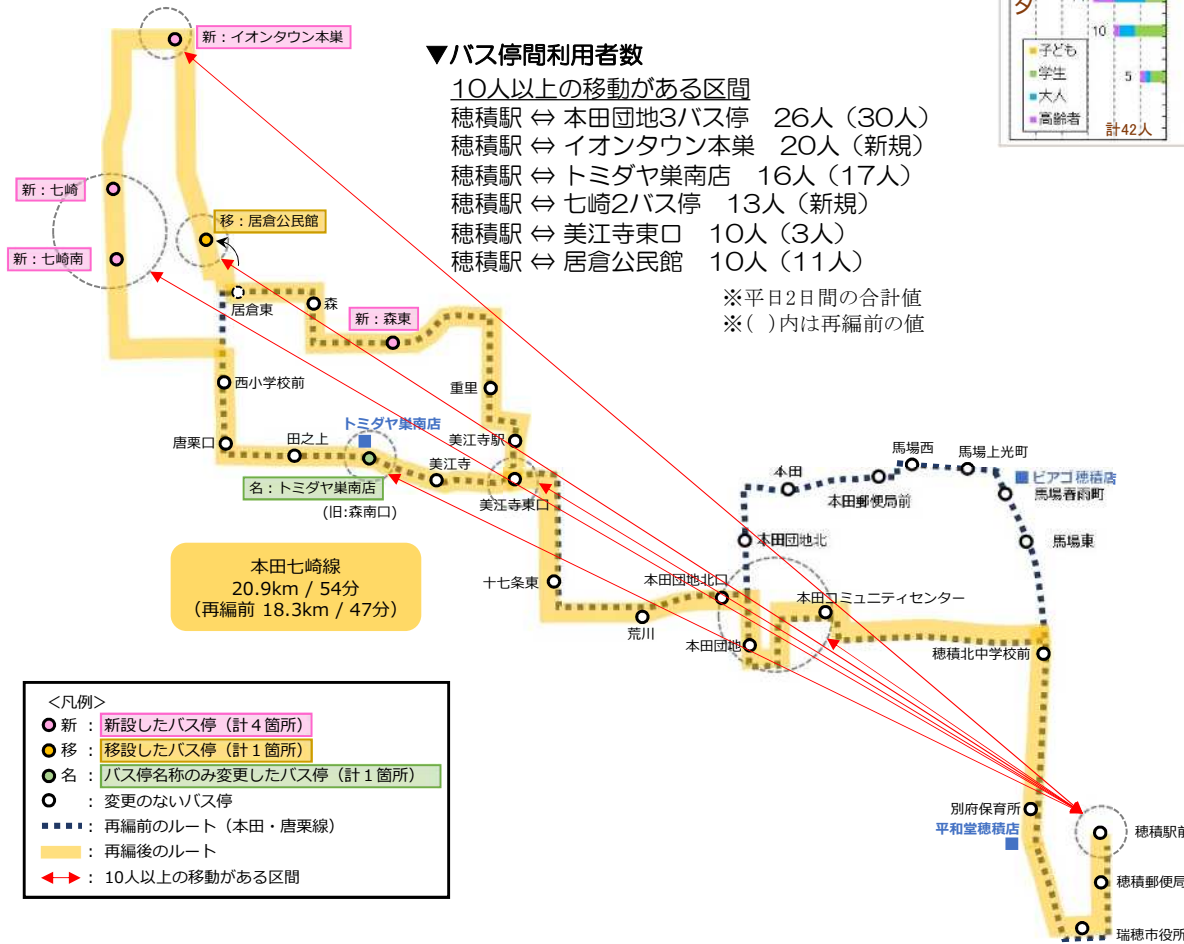
- 本田七崎線は、馬場や本田の北側の地域を經由しないルートに変更したものの、平日1日の利用者数は100人~110人となっており、再編前と比較して全体の利用者数や時間帯別の利用者数に大きな差はない。
- 朝の便に大人の利用が増えているものの、全体的に高齢者の利用が減っている。

■ バス停別乗降者数

- 穂積駅前が152人と最も多く、再編前と比較して33人多くなっている。
- 新規バス停ではイオンタウン本巣が31人と多くなっている。

■ バス停間利用者数

- 10人以上の移動がある区間をみると、穂積駅とその他のバス停間の利用が多く、各バス停から穂積駅までの往復移動に利用されている。
- 要望があって新設した七崎及び七崎南や、イオンタウン本巣など、新規のバス停と穂積駅をつなぐ区間の利用も多い。



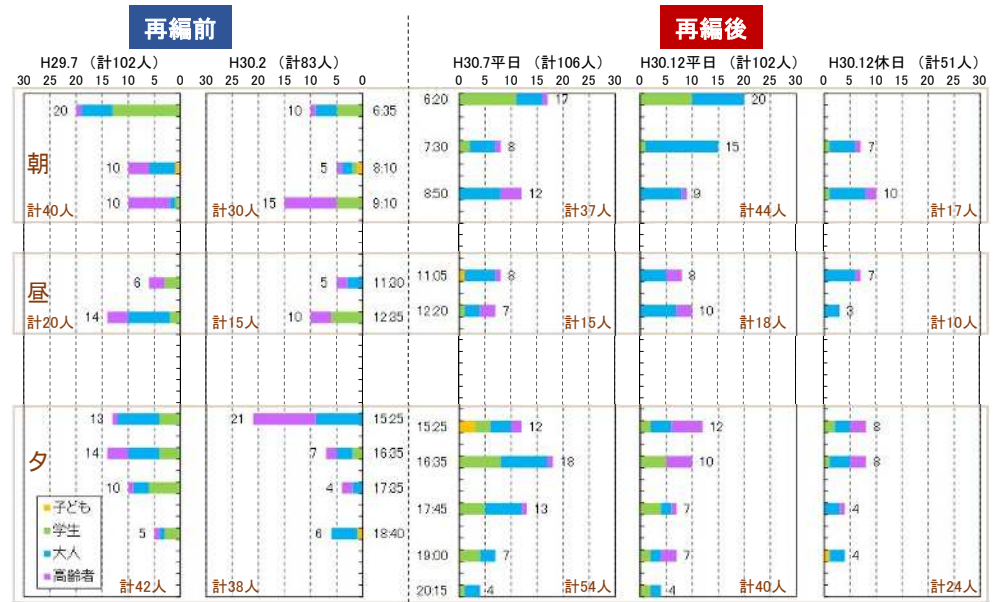
▼ バス停間利用者数

10人以上の移動がある区間

- 穂積駅 ⇄ 本田団地3バス停 26人 (30人)
- 穂積駅 ⇄ イオンタウン本巣 20人 (新規)
- 穂積駅 ⇄ トミダヤ菓南店 16人 (17人)
- 穂積駅 ⇄ 七崎2バス停 13人 (新規)
- 穂積駅 ⇄ 美江寺東口 10人 (3人)
- 穂積駅 ⇄ 居倉公民館 10人 (11人)

※平日2日間の合計値
※()内は再編前の値

▼ 便別利用者数



▼ バス停別乗降者数

再編前		再編後	
バス停名	乗降者数	バス停名	乗降者数
穂積駅前	119	穂積駅前	152
穂積郵便局	4	穂積郵便局	2
瑞穂市役所	40	瑞穂市役所	18
別府保育所	13	別府保育所	20
穂積北中学校前	3	穂積北中学校前	10
馬場東	7	-	-
馬場春雨町	10	-	-
馬場上光町	8	-	-
馬場西	3	-	-
本田郵便局前	4	-	-
本田	5	-	-
本田団地北	7	-	-
本田団地北口	19	本田団地北口	20
荒川	2	荒川	3
十七条東	4	十七条東	5
美江寺東口	12	美江寺東口	16
美江寺駅	5	美江寺駅	7
重里	3	重里	8
森	5	森	3
居倉東	14	居倉公民館(旧 居倉東)	6
-	-	イオンタウン本巣	13
-	-	七崎	9
-	-	七崎南	5
西小学校前	1	西小学校前	8
唐栗口	10	唐栗口	10
田之上	9	田之上	9
森南口	19	トミダヤ菓南店(旧 森南口)	19
美江寺	19	美江寺	7
本田団地	11	本田団地	15
本田コミュニティセンター	14	本田コミュニティセンター	20
合計	370	合計	416

■ 乗降者数20人以上のバス停
■ 赤 : 再編後に新設したバス停
■ 青 : 再編後に移設したバス停

※平日2日間の合計値

1. 「みずほバス」再編後の利用状況

(4)十九条古橋線の利用状況

■便別利用者数

- 平日1日の利用者数は100人~120人となっており、再編前と比較して、全体の利用者数に大きな差はないが、時間帯別にみると朝の利用が多くなっている。
- 朝夕は学生と大人の利用が多く、昼は高齢者の利用が多くなっている。

■バス停別乗降者数

- 穂積駅前が177人と最も多く、次いで粟南庁舎が39人、古橋神田町が35人、南小学校が31人となっている。これらのバス停の利用状況は、再編前と概ね同じである。
- 新規バス停では古橋南が20人と多くなっている。

■バス停間利用者数

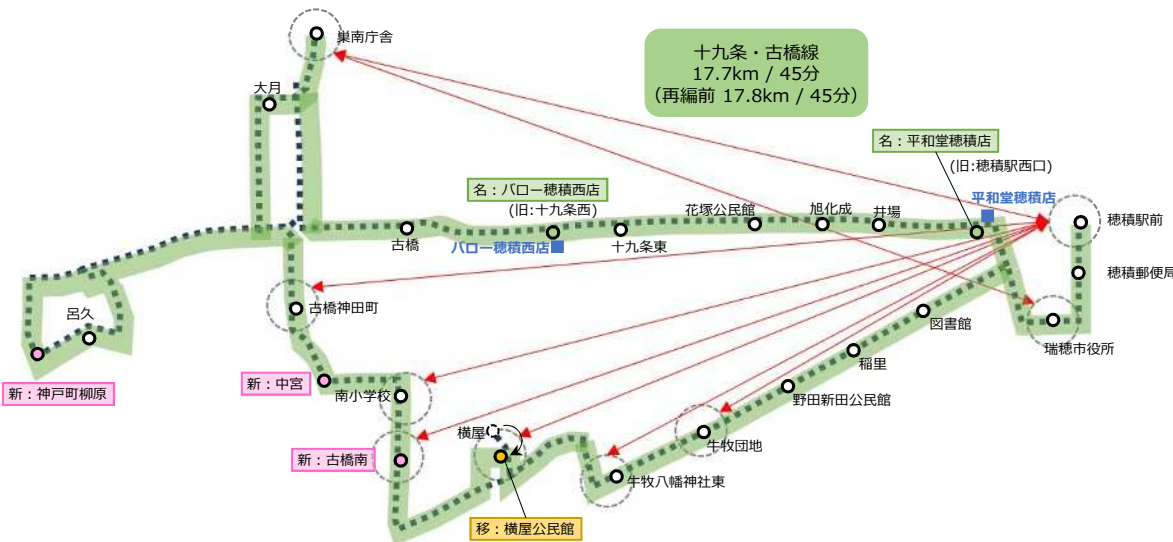
- 10人以上の移動がある区間をみると、穂積駅とその他のバス停間の利用が多く、各バス停から穂積駅までの往復移動に利用されている。
- 粟南庁舎と瑞穂市役所間の移動も多くなっている。

▼バス停間利用者数

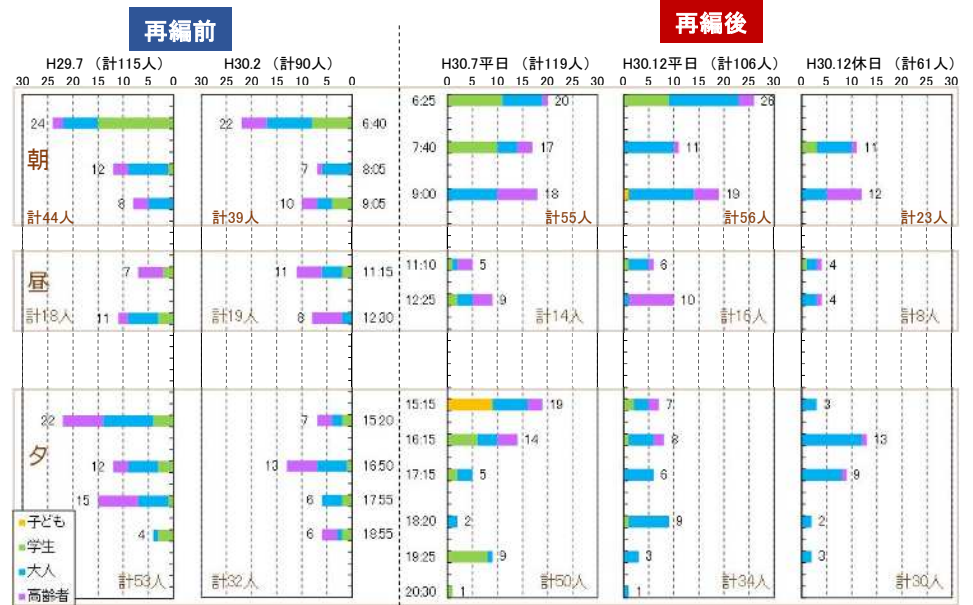
10人以上の移動がある区間

- 穂積駅 ⇄ 古橋神田町 30人 (18人)
- 穂積駅 ⇄ 南小学校 25人 (29人)
- 穂積駅 ⇄ 牛牧団地 16人 (21人)
- 穂積駅 ⇄ 古橋南 16人 (新規)
- 穂積駅 ⇄ 横屋公民館 13人 (10人)
- 穂積駅 ⇄ 牛牧八幡神社東 12人 (11人)
- 穂積駅 ⇄ 粟南庁舎 23人 (29人)
- 瑞穂市役所 ⇄ 粟南庁舎 11人 (4人)

※平日2日間の合計値
※()内は再編前の値



▼便別利用者数



▼バス停別乗降者数

再編前		再編後	
バス停名	乗降者数	バス停名	乗降者数
穂積駅前	173	穂積駅前	177
穂積郵便局	2	穂積郵便局	3
瑞穂市役所	23	瑞穂市役所	25
穂積駅西口	7	平和堂穂積店	12
井場	0	井場	1
旭化成	2	旭化成	2
花塚公民館	5	花塚公民館	1
十九条東	5	十九条東	2
十九条西	11	ハロー穂積西店	11
古橋	5	古橋	2
粟南庁舎	35	粟南庁舎	39
大月	3	大月	6
呂久	11	呂久	6
-	-	神戸町柳原	3
古橋神田町	24	古橋神田町	35
-	-	中宮	12
南小学校	34	南小学校	31
-	-	古橋南	20
横屋	14	横屋公民館(旧 横屋)	13
牛牧八幡神社東	11	牛牧八幡神社東	13
牛牧団地	25	牛牧団地	21
野田新田公民館	15	野田新田公民館	5
稲里	2	稲里	3
図書館	3	図書館	7
合計	410	計	450

- ：乗降者数20以上のバス停
- 赤：再編後に新設したバス停
- 青：再編後に移設したバス停

※平日2日間の合計値

1. 「みずほバス」再編後の利用状況

(5) 牛牧穂積線の利用状況

■ 便別利用者数

- 平日1日の利用者数は60人~70人となっており、再編前と比較して全体の利用者数は多くなっている。
- 時間帯別にみると朝と昼の利用者数が再編前と比較して多くなっている。
- 朝と昼に高齢者の利用が多くなっており、大人の利用は全体的に少なくなっている。

■ バス停別乗降者数

- 穂積駅前が81人と最も多く、次いでプラント6が22人となっている。
- 新規バス停では牛牧団地西が19人と多くなっている。

■ バス停間利用者数

- 10人以上の移動がある区間をみると、穂積駅とプラント6間の利用者が15人と多くなっている。
- 新規バス停である牛牧団地西については、牛牧団地西と穂積駅間の利用者が9人、牛牧団地西と平和堂穂積店間の利用者が7人となっている。

▼ バス停間利用者数

10人以上の移動がある区間
穂積駅 ⇄ プラント6 15人 (11人)

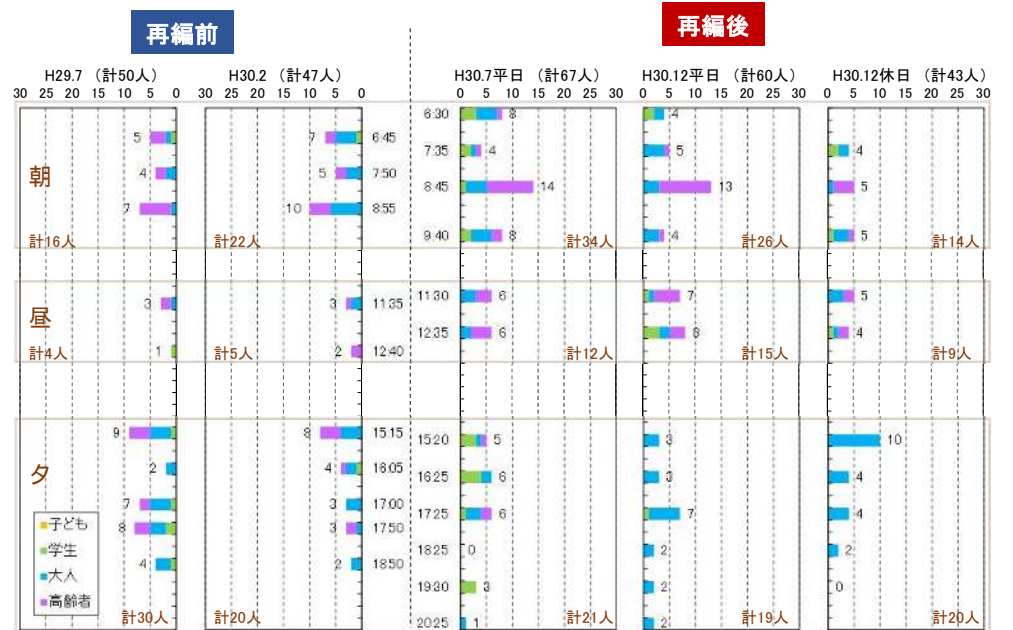
※平日2日間の合計値
※()内は再編前の値

<凡例>

- 新：新設したバス停 (計3箇所)
- 移：移設したバス停 (計3箇所)
- 名：バス停名称のみ変更したバス停 (計1箇所)
- 反：反対回りに標識を設置したバス停 (計3箇所)
- ：変更のないバス停
- ：再編前のルート (本田・唐栗線)
- ：再編後のルート
- ↔：10人以上の移動がある区間



▼ 便別利用者数



▼ バス停別乗降者数

再編前		再編後	
バス停名	乗降者数	バス停名	乗降者数
穂積駅前	78	穂積駅前	81
穂積郵便局	5	穂積郵便局	5
瑞穂市役所	10	瑞穂市役所	13
穂積駅西口	2	平和堂穂積店	9
井場	2	井場	0
旭化成	0	旭化成	1
花塚公民館	2	花塚公民館	5
十九条東	4	十九条東	7
防災センター	10	防災センター	3
上牛牧	6	上牛牧	7
牛牧八幡神社前	12	牛牧団地西	19
下畑	3	下畑	7
下牛牧南	3	下牛牧南	3
宝江	6	宝江	6
ほづみ園	12	ほづみ園	16
プラント6	13	プラント6	22
野白新田	4	清流みどりの丘公園(旧野白新田)	6
祖父江	3	祖父江公園(旧祖父江)	8
下穂積	3	下穂積	2
中切	8	中切	10
庄屋敷	1	庄屋敷	3
前所	7	前所	9
		上穂積交差点南	3
		マックスバリュ穂積店	9
合計	194	計	254

□：乗降者数20以上のバス停
赤：再編後に新設したバス停
青：再編後に移設したバス停

※平日2日間の合計値

1. 「みずほバス」再編後の利用状況

(6)馬場十七条線(新規路線)の利用状況

■便別利用者数

・平日1日の利用者数は60~80人となっており、朝は20人前後、昼は10人前後、夕方は30人前後の人が利用している。

■バス停別乗降者数

・穂積駅前が97人と最も多く、次いで新規バス停である牛牧団地西が32人、瑞穂市役所が29人となっている。ただし、牛牧団地西及び瑞穂市役所については、7月の平日に牛牧小の児童の団体利用があった。
 ・旧本田・唐栗線が通過していた馬場東や馬場春雨町などのバス停の利用者数には大きな変化はない。

■バス停間利用者数

・10人以上の移動がある区間をみると、穂積駅と本田・本田団地北間の利用者数が17人、穂積駅と牛牧団地西間の利用者数が12人と多くなっている。
 ・牛牧団地西と瑞穂市役所間の利用も18人と多いが、うち11人は牛牧小の児童の団体利用である。

▼バス停間利用者数

10人以上の移動がある区間

穂積駅 ⇄ 本田・本田団地北 17人 (7人)

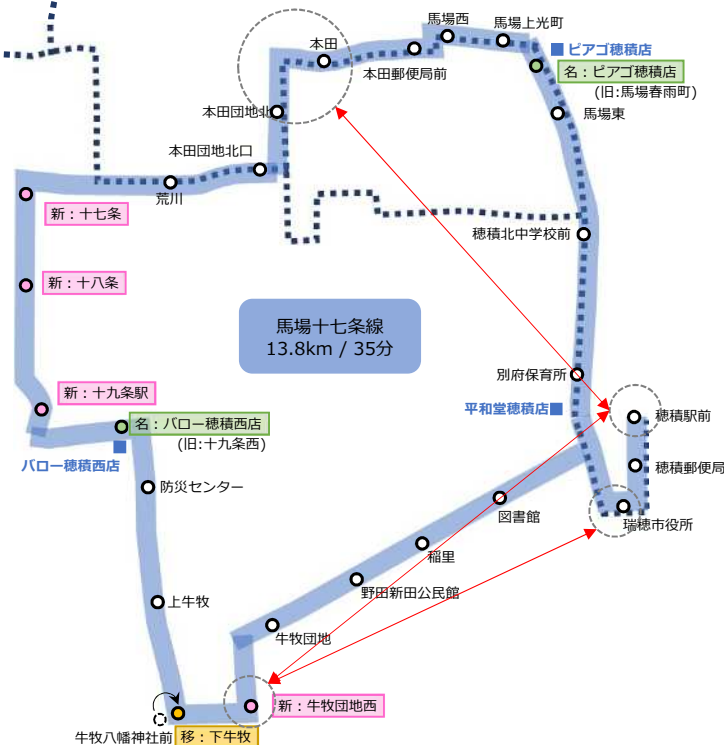
穂積駅 ⇄ 牛牧団地西 12人 (新規)

瑞穂市役所 ⇄ 牛牧団地西 18人 (新規)

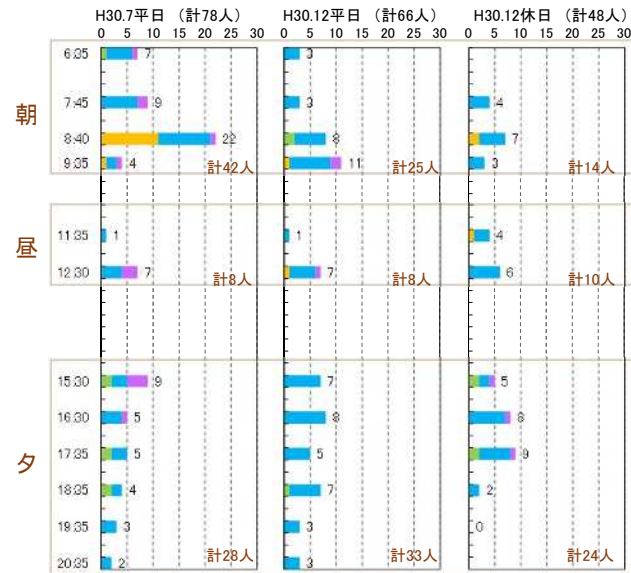
※平日2日間の合計値
 ※()内は再編前の値

<凡例>

- 新：新設したバス停 (計4箇所)
- 移：移設したバス停 (計1箇所)
- 名：バス停名称のみ変更したバス停 (計2箇所)
- ：変更のないバス停
- ：再編前のルート (本田・唐栗線)
- ：再編後のルート
- ↔：10人以上の移動がある区間



▼便別利用者数



※7月平日8:40は牛牧小5年生11名がスポーツ大会へ行くために利用

▼バス停別乗降者数

再編前(本田・唐栗線)		再編後	
バス停名	乗降者数	バス停名	乗降者数
穂積駅前	119	穂積駅前	97
穂積郵便局	4	穂積郵便局	0
瑞穂市役所	40	瑞穂市役所	29
別府保育所	13	別府保育所	6
穂積北中学校前	3	穂積北中学校前	2
馬場東	7	馬場東	3
馬場春雨町	10	ピアゴ穂積店(旧 馬場春雨町)	10
馬場上光町	8	馬場上光町	4
馬場西	3	馬場西	8
本田郵便局前	4	本田郵便局前	7
本田	5	本田	5
本田団地北	7	本田団地北	17
本田団地北口	19	本田団地北口	17
荒川	2	荒川	7
十七条東	4	十七条	4
美江寺東口	12	十八条	2
美江寺駅	5	十九条駅	1
重里	3	ピアゴ穂積店(旧 十九条西)	4
森	5	防災センター	3
居倉東	14	上牛牧	5
西小学校前	1	下牛牧	5
唐栗口	10	牛牧団地西	32
田之上	9	牛牧団地	11
森南口	19	野田新田公民館	2
美江寺	19	稲里	5
本田団地	11	図書館	0
本田コミュニティーセンター	14		
合計	370	計	286

■：乗降者数20人以上のバス停
 赤：再編後に新設したバス停
 青：再編後に移設したバス停

※旧本田・唐栗線のバス停の中で、本田七崎線は通過せず、馬場十七条線だけが通過する区間

※牛牧団地西の乗降者のうち11名は牛牧小の児童の団体利用

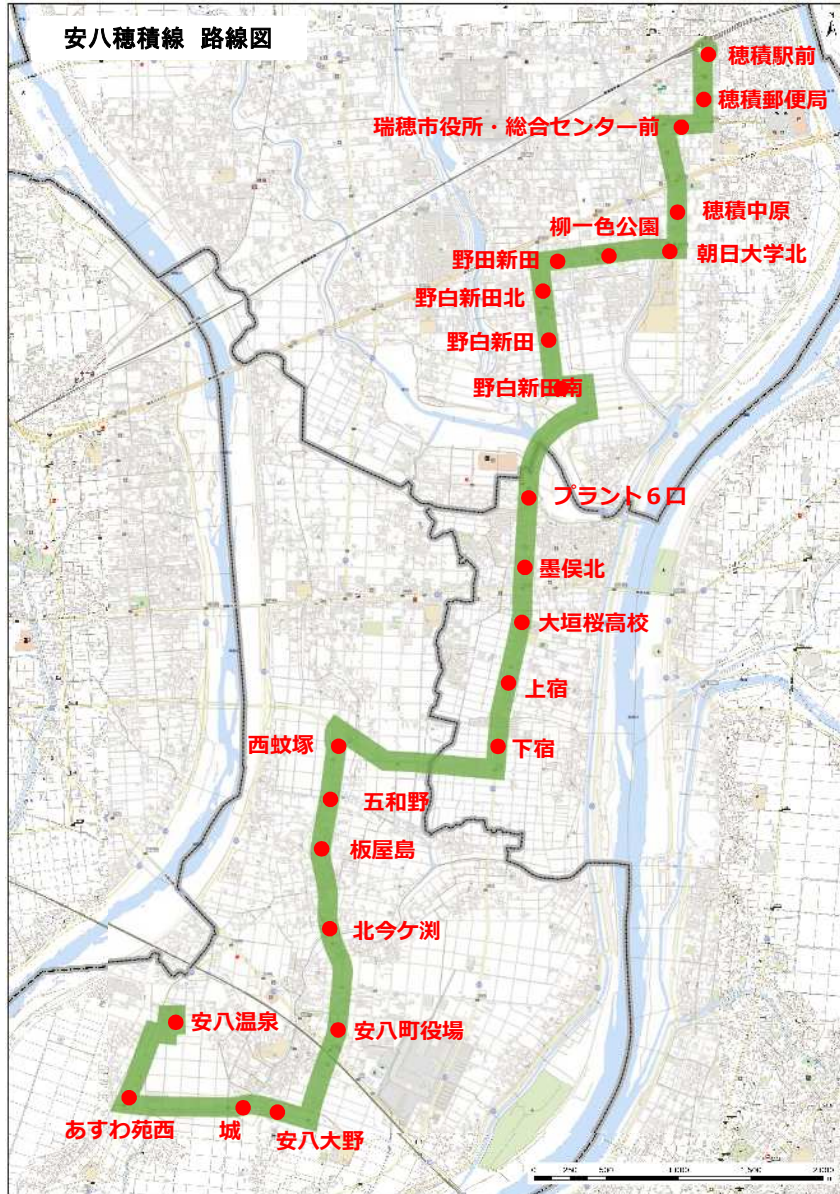
※平日2日間の合計値
 ※再編後は1人の方の乗降停留所が不明

2. 新規路線「安八穂積線」の利用状況

(1) 路線概要

■平成30年4月1日より名阪近鉄バスの営業路線として運行開始

		行き先	便数・運行時間帯	
			平日	土休日
名阪近鉄バス 安八穂積線	往路	穂積駅前	11便・6時台～19時台	8便・7時台～18時台
	復路	安八温泉	11便・7時台～20時台	8便・8時台～19時台

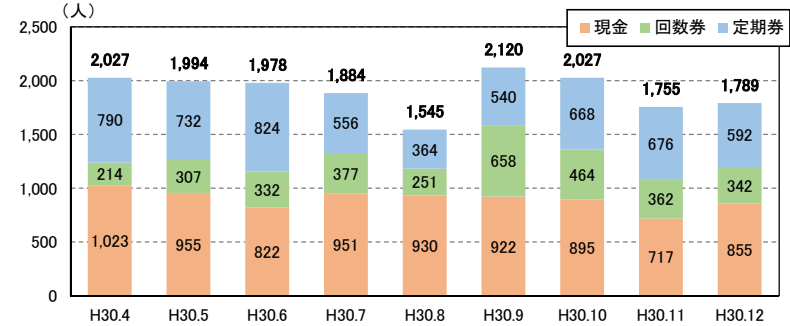


(2) 利用状況

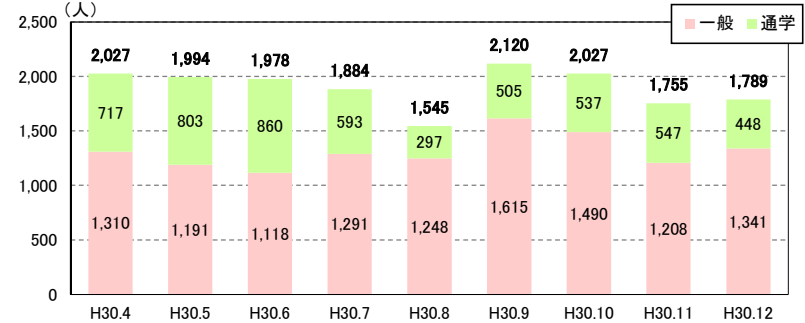
■月別利用者数

- ・安八穂積線の1ヶ月当たり利用者数は1,500人～2,100人程度となっている。
- ・8月は通学者（通学定期券購入者）の利用が少なくなっているため、総利用者数が少なくなっている。

▼月別利用者数（支払方法別）



▼月別利用者数（属性別）



※安八穂積線輸送総括表及び定期券販売実績（名阪近鉄バス提供資料）より作成
※定期券購入者は1ヶ月当たり60人/回として計上

安八穂積線利用者調査 概要

- ・調査目的：安八穂積線の乗降調査を実施し、利用実態を把握・分析
- ・調査日時：平成30年10月23日(火), 24日(水), 27日(土), 28日(日)
- ・調査方法：①対象路線のバス車内に調査員が乗り込み、バス停ごとの乗降者数のカウントと属性を記録
②目的地、安八穂積線が運行される前の交通手段についてヒアリング

■調査実施日の利用者数

- ・平日は60人前後、休日は40人前後の利用があった。
- ・すべての調査日において復路より往路の利用が多くなっており、片道利用の方が多いと考えられる。

▼調査実施日の利用者数

	往路	復路	合計
10月23日(火)	39	24	63
10月24日(水)	38	21	59
10月27日(土)	27	12	39
10月28日(日)	22	20	42
合計	126	77	203

2. 新規路線「安八穂積線」の利用状況

平日：平日2日間の合計値
(10月23日(火)、24日(水))

休日：休日2日間の合計値
(10月27日(土)、28日(日))

(3) 利用状況

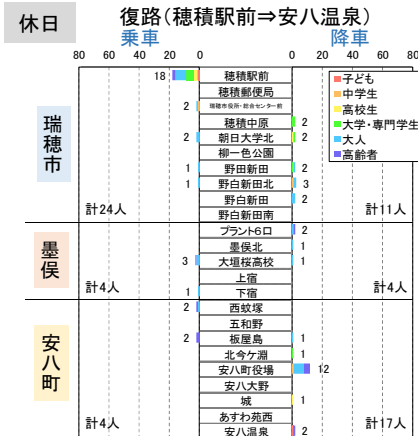
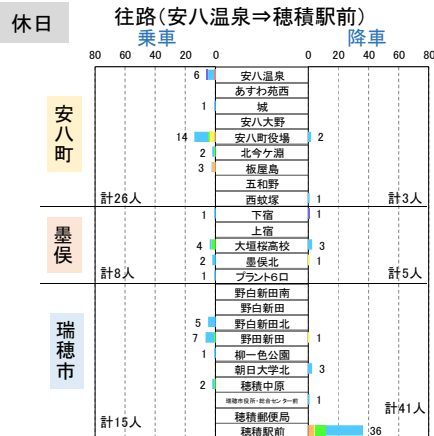
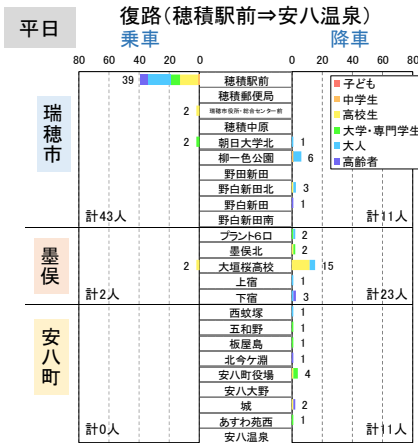
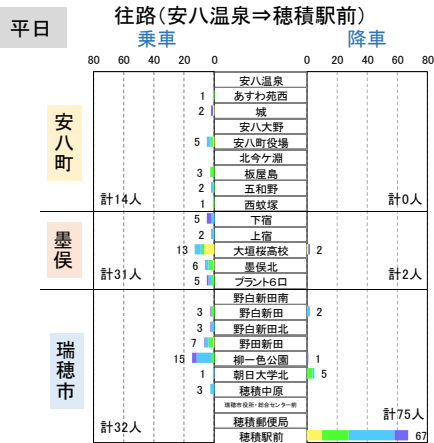
■バス停別乗降者数

- 平日は、往路(安八温泉⇒穂積駅前)は大垣桜高校や柳一色公園の乗車がそれぞれ13人、15人、穂積駅前での降車が67人と多くっており、復路(穂積駅前⇒安八温泉)は穂積駅前での乗車が39人、大垣桜高校での降車が15人と多くなっている。
- 休日は、往路(安八温泉⇒穂積駅前)は安八町役場での乗車が14人、穂積駅前での降車が36人と多くっており、復路(穂積駅前⇒安八温泉)は穂積駅前での乗車が18人、安八町役場での降車が12人と多くなっている。休日の安八町役場の利用が多い理由としては、安八町役場で安八ふれあい祭りが開催されていたことが挙げられる。

■バス停間の利用者数

- 平日、休日ともに主に穂積駅前と各地域との往復の移動に利用されている。
- 平日は大垣桜高校、柳一色公園と穂積駅前間の移動が多くなっている。
- 休日は安八町役場、野田新田と穂積駅前間の移動が多くなっている。

▼バス停別乗降者数



▼バス停間利用者数

平日	降車																	総計							
	安八町					墨俣			瑞穂市																
	安八温泉	あすわ苑西	城	安八大野	安八町役場	北今ヶ淵	板屋島	五和野	西蚊塚	下宿	上宿	大垣桜高校	墨俣北	プラント6口	野白新田南	野白新田	野白新田北	野田新田	柳一色公園	朝日大学北	穂積中原	穂積市役所・総合センター前	穂積郵便局	穂積駅前	
安八町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
墨俣	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
瑞穂市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
総計	0	1	2	0	4	1	1	1	1	3	1	13	1	2	0	3	3	0	7	6	0	0	0	67	122

休日	降車																	総計							
	安八町					墨俣			瑞穂市																
	安八温泉	あすわ苑西	城	安八大野	安八町役場	北今ヶ淵	板屋島	五和野	西蚊塚	下宿	上宿	大垣桜高校	墨俣北	プラント6口	野白新田南	野白新田	野白新田北	野田新田	柳一色公園	朝日大学北	穂積中原	穂積市役所・総合センター前	穂積郵便局	穂積駅前	
安八町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
墨俣	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
瑞穂市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
総計	2	0	1	0	14	1	1	0	1	1	0	4	2	2	0	2	3	3	0	5	2	1	0	36	81

2. 新規路線「安八穂積線」の利用状況

平日 : 平日2日間の合計値
(10月23日(火)、24日(水))

休日 : 休日2日間の合計値
(10月27日(土)、28日(日))

(3) 利用状況

■ 便別利用者数

- 平日は、往路(安八温泉⇒穂積駅前)の2便~4便の利用が多く、特に2便は25人と多くなっている。復路(穂積駅前⇒安八温泉)は1便が9人と最も多くなっている。
- 休日は、往路(安八温泉⇒穂積駅前)は1便が10人、復路(穂積駅前⇒安八温泉)は7便が11人と多くなっている。

■ 利用目的

- 平日は、往路(安八温泉⇒穂積駅前)は通学と通勤が21%と高くなっており、復路(穂積駅前⇒安八温泉)は、帰宅が62%、大垣桜高校への通学が29%と高くなっている。
- 休日は、往路(安八温泉⇒穂積駅前)は帰宅が27%、買い物が20%と高くなっており、復路(穂積駅前⇒安八温泉)は帰宅が53%、ふれあい祭り(安八町役場)が28%と高くなっている。

■ 行き先(利用目的が帰宅の人は除く)

- 平日は、往路(安八温泉⇒穂積駅前)は愛知県が30%、岐阜市が22%と高くなっており、復路(穂積駅前⇒安八温泉)は墨俣が76%と高くなっている。
- 休日は、往路(安八温泉⇒穂積駅前)が愛知県が35%、岐阜市が32%と高くなっており、復路(穂積駅前⇒安八温泉)は安八町が60%と高くなっている。

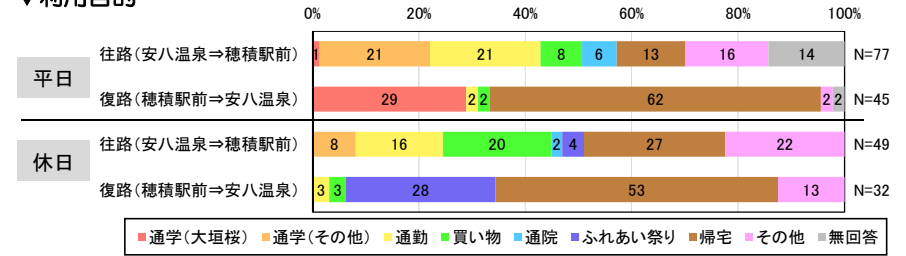
■ 安八穂積線運行前の移動手段

- 安八穂積線運行前の移動手段は、自転車37人、送迎36人、自分で運転24人となっている。
- 最寄りバス停が瑞穂市内にある人は、徒歩や自転車で移動していた人が多く、墨俣町や安八町にある人は自分で運転や送迎で移動していた人が多い。
- 安八穂積線運行前は当該目的地に行くことがなかった人(新規)は30人となっている。

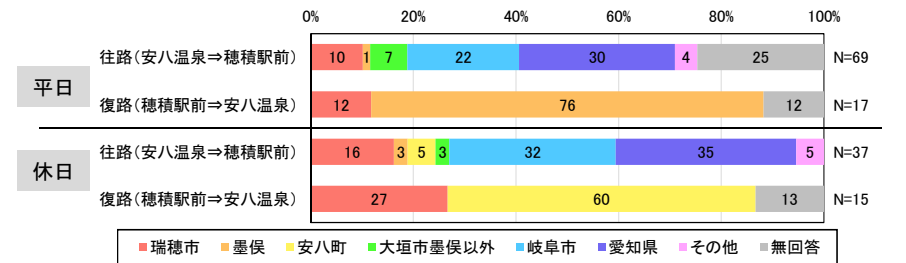
▼ 便別利用者数



▼ 利用目的

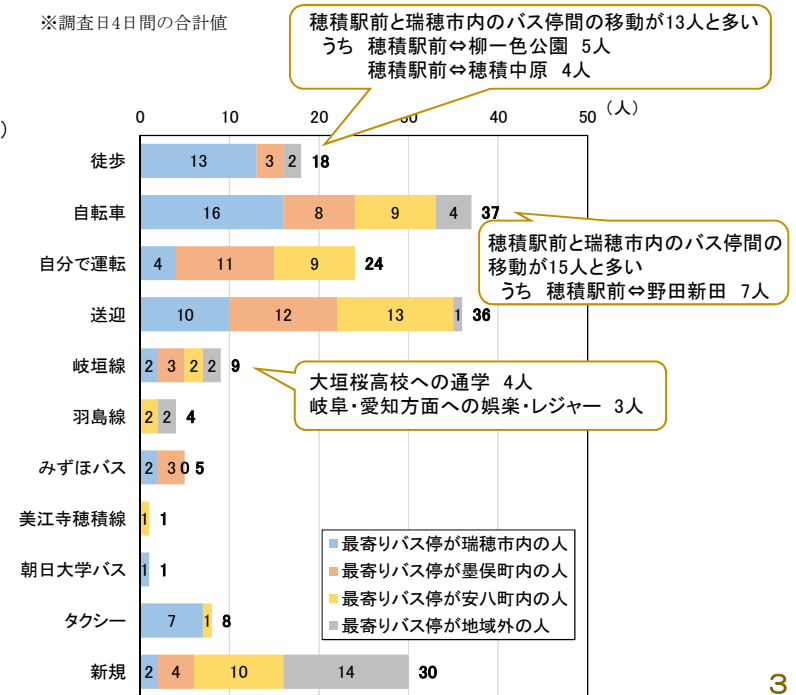


▼ 行き先(利用目的が帰宅の人は除く)



▼ 安八穂積線運行前の移動手段(複数回答)

※調査日4日間の合計値



3. 評価と今後の課題

(1)みずほバス

利用状況のまとめ

- 全体の利用状況
 - ・全体の利用者数は、平成29年度と比較して120%～160%増加している。
 - ・大人の利用は、平成29年度と比較して180人増加している。
 - ・高齢者の利用は、平成29年度と比較して23人減少している。（伸びていない）
- 時間帯別の利用状況
 - ・19時台、20時台の利用者数は多くないものの、朝の便を中心に全体として大人の利用が多くなっている。これは通勤・通学での利用者からの要望に応え、最終便が繰り下げされたことにより通勤での利用がしやすくなったためと考えられる。
- 路線別の利用状況
 - ・本田七崎線は、馬場や本田の北側の地域を経由しないルートに変更したものの、エリア拡大した北西部に新設したバス停（イオンタウン本業、七崎、七崎南）の利用があり、路線全体の利用者数は再編前と比較して大きく変わっていない。
 - ・十九条古橋線は、朝の時間帯（6～9時台）の利用が増えており、朝早い便を追加した効果が出ている。
 - ・牛牧穂積線は、再編により路線全体の利用者数は増えているものの、通勤利用と思われる大人の利用者が少ないため、4路線の中では最も利用者数が少ない。
 - ・馬場十七条線は新規路線で、他路線と重複する区間が多いものの平日1日当たり60～80人の利用がある。再編でバス停が新設された十七条、十八条、十九条駅の利用者数は多くない。（平日2日間で1～4人の乗降）

運行経費等の評価

- ・H30.4の路線再編で運行エリアの拡大や増便をした結果、H30の運行経費は約6,490万円と、H28やH29と比較して約400万円の増額となっている。
- ・一方で、H30の利用者数は82,414人と、H28と比較して約16,000人、H29と比較して約13,000人増加している。
- ・利用者数の増加に伴い運賃収入も増加しており、収支率は10.7%、利用者1人あたり運行経費は788円と、H28やH29と比較して効率的な運行ができている。

▼みずほバスの運行経費

	運行経費 (千円/年) ①	運賃収入 (千円/年) ②	収支率 (%) ③=②÷①	事業費 (千円/年) ④=①-②	国庫補助 (千円/年) ⑤	市負担額 (千円/年) ⑥	利用者数 (人/年) ⑦	利用者1人あたり 運行経費 (円/人) ⑧=①÷⑦
H28 (H27.10-28.9)	60,934	5,679	9.3	55,255	9,157	27,443	66,284	919
H29 (H28.10-29.9)	60,637	5,901	9.7	54,736	9,011	27,589	68,881	880
H30 (H29.10-30.9)	64,906	6,959	10.7	57,947	11,005	42,791	82,414	788

利用促進策

- 通学者への利用促進策
 - ・市内中学3年生を対象に、高校への通学にバスが利用できることをPR など
- 通勤者への利用促進策
 - ・穂積駅構内にみずほバスでの通勤をPRするポスターの掲示
 - ・定期券の導入 など
 - ※毎日みずほバスを利用した場合、4,000円/月（平日20日間の利用を想定）に対し、穂積駅の月極駐車場は5,000円/月程度であり、バスを利用する費用的なメリットが小さい
- 高齢者への利用促進策
 - ・商業施設や医療施設にみずほバスの利用をPRするポスターの掲示
 - ・老人クラブなどの会合に出向いて出前講座を開催 など
- 路線別の利用促進策
 - ・自治会ごとに改善要望を出していただき、個別路線ごとの改善策を検討
 - ・利用が少ないバス停については、より利用が見込まれる場所（住宅密集地など）への移設を検討

3. 評価と今後の課題

(2)安八穂積線

利用状況のまとめ

- ・ 往路（安八温泉⇒穂積駅前）は、通勤・通学のために各バス停から穂積駅までの移動に利用されている割合が高い。
- ・ 復路（穂積駅前⇒安八温泉）は、穂積駅から大垣桜高校への通学のために利用されている割合が高い。
- ・ 安八穂積線の収支率（見込み）は16.4%となっている。

▼安八穂積線の運行経費（平成30年度見込み）

	運行経費 (千円) ①	運賃収入 (千円) ②	収支率 (%) ③=②÷①	赤字額 (千円) ④=①-②	利用者数 (人) ⑤	利用者1人当たり 運行経費 (円/人) ⑥=①÷⑤
安八穂積線	34,857	5,673	16.3	29,184	22,825	1,527

※運賃収入以外の収入は考慮していない
 ※①、②、⑤は4月～12月までの実績から算出した見込み

利用促進策

- ・ 大垣桜高校に入学する可能性のある生徒を対象に、高校見学会などで安八穂積線のチラシを配布
- ・ 大垣桜高校の生徒を対象に、入学式などで安八穂積線のチラシを配布
- ・ 安八温泉の入館料とバス運賃がセットになった企画切符の販売
 ※穂積駅前～安八温泉間のバス運賃 往復 1,100円
 安八温泉入館料 大人 300円
- ・ H31.4より大野穂積線が増便されるため、安八穂積線と大野穂積線の乗継利用の利便性向上（乗継ダイヤの改善など）
 ※安八穂積線と大野穂積線の乗継利用のイメージ
 > 本巣市・大野町方面から穂積駅経由で大垣桜高校へ通学
 > 瑞穂市・安八町方面から穂積駅経由でモレラ岐阜へ買い物 など

▼安八穂積線と大野穂積線の乗継状況

※大野穂積線は、安八穂積線との乗継が30分以内の便のみ表示
 ※増便予定の便は反映していない

（安八温泉⇒大野バスセンター）

安八穂積線	1便	2便	3便	4便	5便	6便	7便	8便	9便	10便	11便
安八温泉	6:25	7:10	8:00	9:25	11:10	12:10	15:40	16:45	18:00	19:00	19:55
大垣桜高校	6:41	7:26	8:16	9:41	11:26	12:26	15:56	17:01	18:16	19:16	20:11
瑞穂市役所・総合センター前	6:54	7:42	8:29	9:54	11:39	12:39	16:09	17:17	18:32	19:29	20:24
穂積駅前	6:56	7:45	8:31	9:56	11:41	12:41	16:11	17:20	18:35	19:31	20:26
穂積駅前での乗継時間	0:19		0:09				0:19				
瑞穂市役所周辺での乗継時間	0:24		0:14				0:24				

（大野バスセンター⇒安八温泉）

大野穂積線	1便	3便	4便	8便	11便
大野バスセンター	6:15	7:10	8:10	12:15	15:35
モレラ岐阜	6:30	7:25	8:25	12:30	15:50
北方バスターミナル	6:39	7:34	8:33	12:39	15:59
瑞穂市役所前	6:53	7:51	8:48	12:51	16:12
穂積駅前	6:55	7:53	8:50	12:53	16:14
穂積駅前での乗継時間	0:12	0:07	0:17	0:14	0:03
瑞穂市役所周辺での乗継時間	0:16	0:11	0:21	0:18	0:07

安八穂積線	1便	2便	3便	4便	5便	6便	7便	8便	9便	10便	11便
穂積駅前	7:07	8:00	9:07	10:07	12:07	13:07	16:17	17:55	19:05	19:50	20:35
瑞穂市役所・総合センター前	7:09	8:02	9:09	10:09	12:09	13:09	16:19	17:57	19:07	19:52	20:37
大垣桜高校	7:24	8:15	9:22	10:22	12:22	13:22	16:32	18:12	19:20	20:05	20:50
安八温泉	7:42	8:31	9:38	10:38	12:38	13:38	16:48	18:30	19:36	20:21	21:06

赤字：土日祝は運休

▼穂積駅・瑞穂市役所周辺のバス停位置

